【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成25年7月18日(2013.7.18)

【公表番号】特表2008-538674(P2008-538674A)
【公表日】平成20年10月30日(2008.10.30)
【年通号数】公開・登録公報2008-043
【出願番号】特願2008-507651(P2008-507651)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　7/173　(2011.01)
Ｈ０４Ｎ　5/44　(2011.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　7/173　６３０
Ｈ０４Ｎ　5/44　Ｚ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成25年5月30日(2013.5.30)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１２】
通信プロセッサは、各種の有線および無線のネットワーク接続からメディア入力サブシステムまでのネットワーク情報をフィードバックできる。メディア入力サブシステムは、ビデオデータのフォーマットおよび処理を行うためにネットワークフィードバック情報を用いる。符号化およびコード変換処理は、ネットワークフィードバック情報を理解し、利用することにより、さらに効果的に実行できる。さらに、符号化ステップは、送信器準備完了ストリームを送信チャンネルのチャンネル特性に合わせて準備するために、前方誤り訂正と組み合わせることができる。通信プロセッサは、処理済みストリームの様々な要素に対して、どのネットワークプロトコル形式を用いるかの選定に際して、さらに最適化することができる。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００７１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００７１】
前方誤り訂正（ＦＥＣ）は、送信されるビットストリームのエラー回復力を改良するための例示の一方法である。ＦＥＣは、ベースビットに情報の付加冗長ビットを加える処理を含み、それにより、幾つかのビットが欠落するかまたは改竄された場合、フレームの完全な表示またはほぼ完全に近い表示を復号化システムにより再構築できる。ＦＥＣステップ中に付加される冗長情報のビット数を増加させるにつれて、ビットストリームは、エラーに対する保護および回復力をさらに強める。ウエーブレット符号化ビデオの場合、ビデオフレームの最小解像度サブバンドが大部分の画像エネルギーを有するので、このサブバンドをフレーム解像度が高い方のサブバンドよりもＦＥＣ冗長ビットを増加させることにより、保護することができる。